

PHARM TECH JAPAN

製剤技術とGMPの最先端技術情報サイト

ONLINE

MEDIA GUIDE

「PHARM TECH JAPAN」は、1985年の創刊以来、
医薬品の製造・品質管理・製剤技術に関するわが国唯一の専門誌として情報提供を行っております。
この度、専門誌「PHARM TECH JAPAN」に加え、WEBサイト「PHARM TECH JAPAN ONLINE」をオープンさせていただき、
これまで1カ月ごとにしかお届けできなかった情報を、より迅速に業界の最新トピックスとして無料にてお届けしていきます。

雑誌 PHARM TECH JAPAN × PHARM TECH JAPAN ONLINE

2つの媒体でお届けする最先端情報！



雑誌
PHARM TECH JAPAN

最先端情報 ×
専門家による解説

で、深い知識を提供

GMP、製剤技術、ICHやPIC/Sなどの関連
ガイダンス情報を網羅し、各専門家による質
の高い記事を中心に編集し、読者の業務を
支える“知識”を提供します。

PHARM TECH JAPAN
ONLINE



業界トピック速報 ×
独自コンテンツ

で、素早く情報を提供

ガイダンスやGMP査察の情報などの概要を
速報することで、読者の“情報”へのアクセ
ス向上に貢献するとともに、雑誌への内容
理解をより深めます。

Web版の特長

① 無料の会員登録で、業界トピックやガイドラインの最新情報にいち早くアクセス！

配信コンテンツ(予定)

- ガイドラインの最新動向
- GMP査察による警告書発出情報
- 医薬品の回収情報
- 関連学会のイベントの開催情報
- 製剤技術関連論文のサマリー
- 企業の製品情報や最新トピックスの紹介

② 雑誌版「PHARM TECH JAPAN」の過去記事の閲覧が可能に！

- 過去記事検索機能で、知りたい情報を簡便に調べることができます。
- バックナンバーのPDFが閲覧可能になることで、雑誌の長期保管の手間などを削減します。
※過去記事閲覧サービスは有料のオプションサービスとなります。

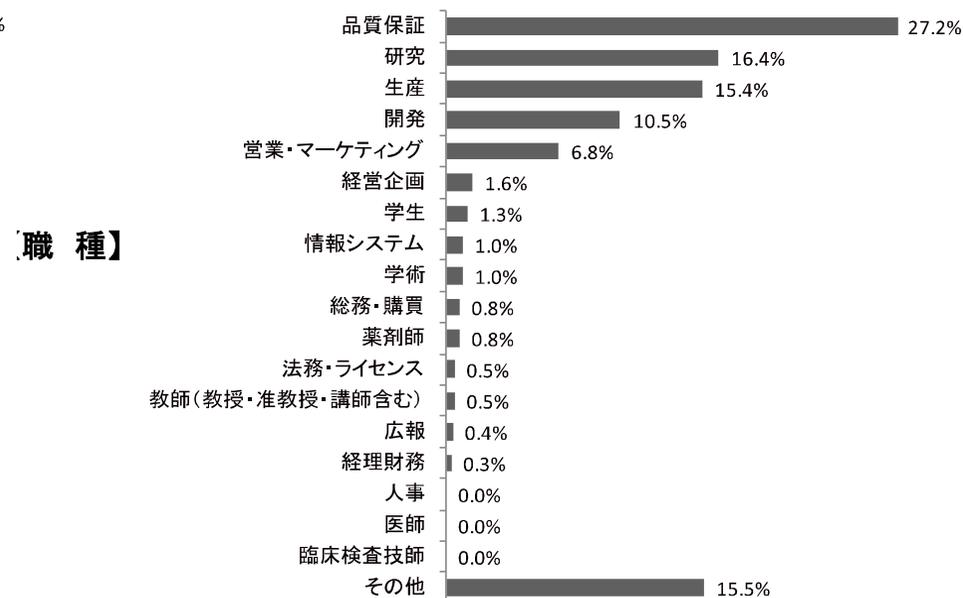
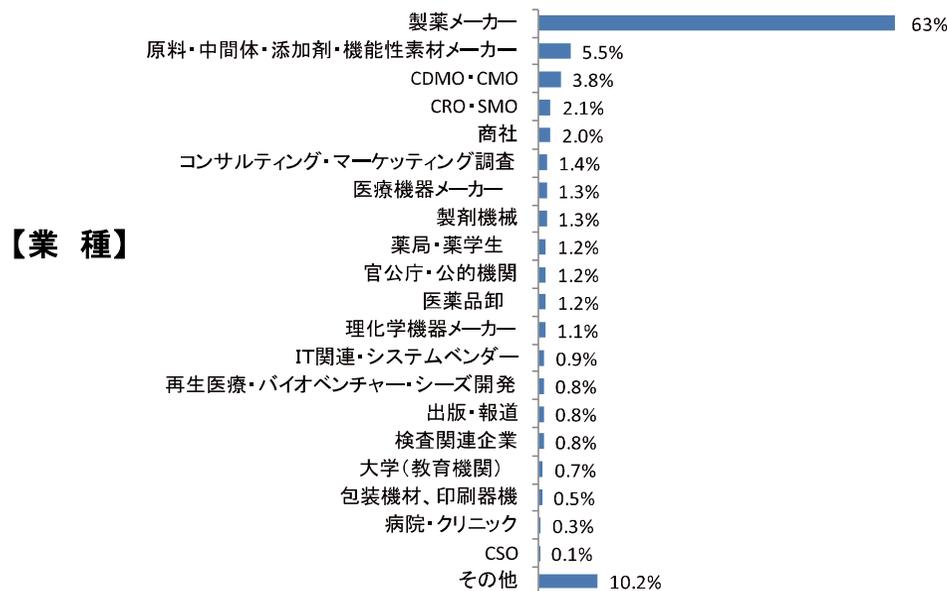
■ ページビュー & ユニークユーザー (2018年10月 月間集計)

・月間ページビュー 241,753 ・月間ユニークユーザー 26,898

◆ 会員数 & メール配信数 (2018年11月5日時点)

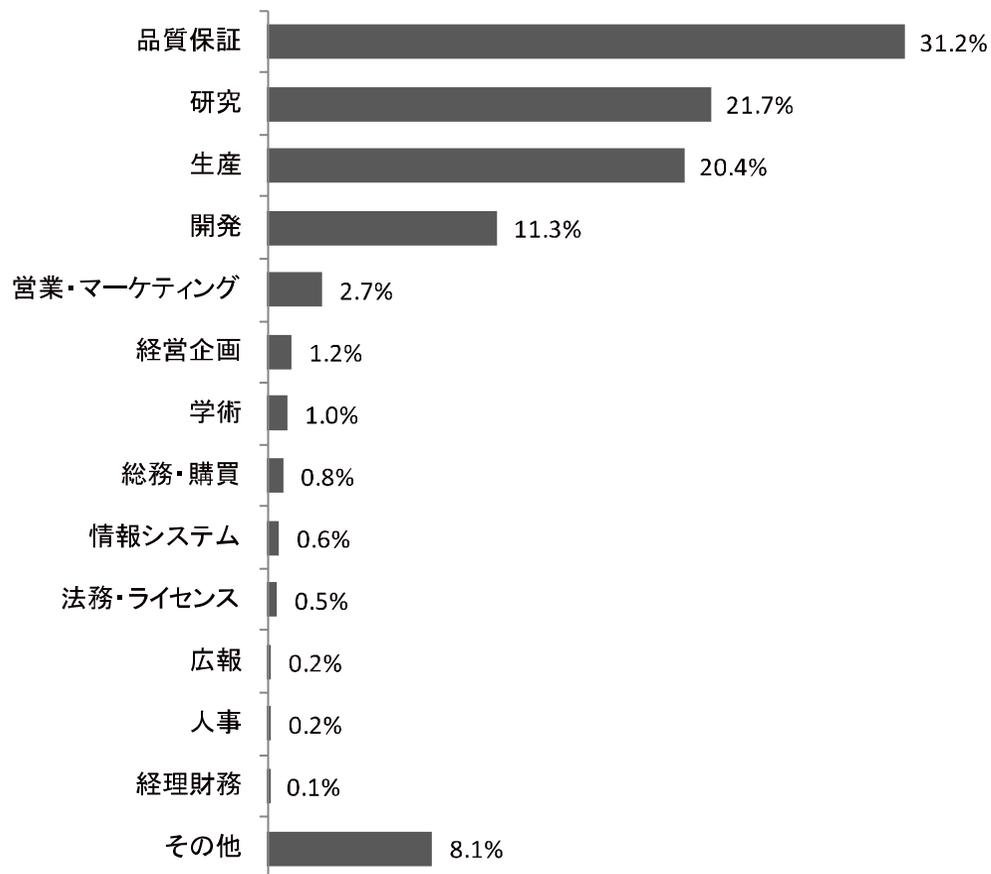
・会員数 8,757 ・メール配信数 7,348

一読者プロフィール(全体)

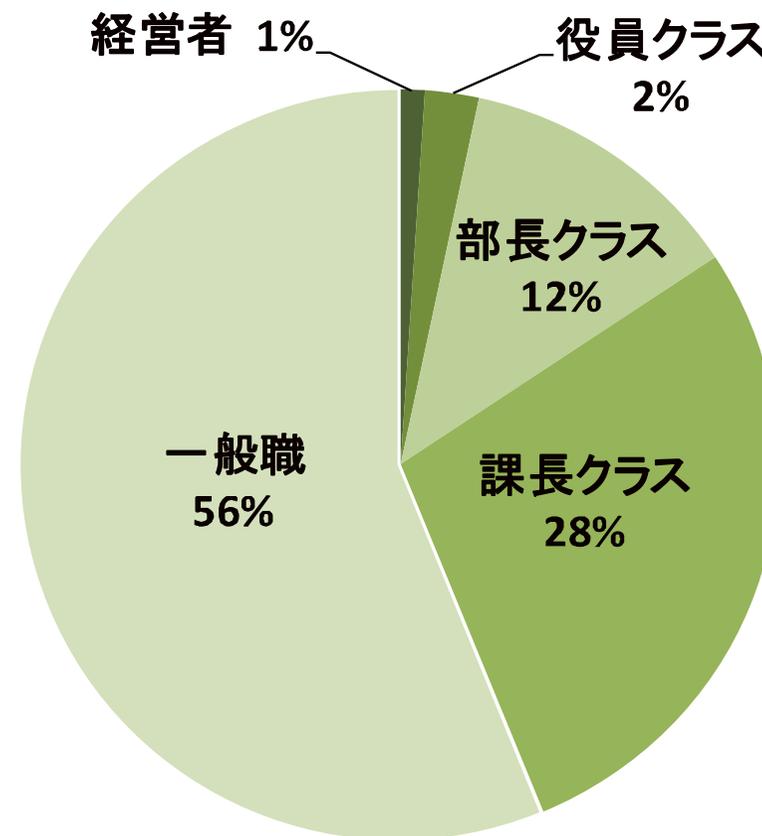


—読者プロフィール(製薬メーカー)—

【職 種】



【役 職】



メニュー	枠数	表示場所	掲載期間	単価(税別)
①サイト上段バナー	1	全ページ (eBook内を除く)	1カ月	250,000円
②レクタングルバナー	2	全ページ (eBook、FAQ内を除く)	1カ月	220,000円
③右下段バナー	5	全ページ (eBook、FAQ内を除く)	1カ月	100,000円
④テキスト広告	3	①TOPICS&CONTENTS内(TOP、記事下) ②企業/製品・サービス内(TOP)	2週間	70,000円
⑤メルマガ テキスト広告	1	メール本文上段	3回 (月・水・金)	70,000円

① サイト上段バナー広告

The screenshot displays the PHARM TECH JAPAN website interface. At the top, there's a navigation bar with 'TOPICS & CONTENTS' and '企業 / 製品・サービス'. Below this, there are tabs for 'トピックス', '特集・連載', 'ARTICLES', '取材・インタビュー', 'その他の記事', '学会・イベント情報', and '雑誌記事検索'. The main content area features several article teasers, including 'レギュラトリーサイエンスと新規製造技術' and '富士フィルムと武田薬品、再生医療等製品の共同事業化に向けた取り組み開始'. On the right side, there are promotional banners for '製剤技術とGMPの最先端技術情報誌' and 'Q&Aで学ぶ データインテグリティ'. The bottom of the page includes social media links for Facebook and a list of featured articles.

掲載料金	250,000円(税別)
表示場所	全ページ (eBook内を除く)
掲載期間	1ヶ月(1日～末日)
枠数	1枠
サイズ	700×80ピクセル
容量	150KB以内 ※アニメーションは30秒以内
形式	JPG、PNG、GIF

入稿締切:5営業日前

②レクタングルバナー広告

最先端のGMPの最先端技術情報サイト

PIC/5をはじめグローバルに役立つ
FDA 査察
良い結果を出すためのポイント 第2版

TOPICS & CONTENTS

企業 / 製品 / サービス

トピックス | 特集・連載 | ARTICLES | 取材・インタビュー | その他の記事 | 学会・イベント情報 | 雑誌記事検索

ログイン
会員登録 (無料)

メニュー

新着記事

レギュラトリーサイエンスと新規製造技術②
PMDA松田氏が連続生産実現への課題を整理 2018/02/09

2018年2月5日に東京都内のよみうり大手町ホールで開催された第3回日本医療研究開発機構 レギュラトリーサイエンス公開シンポジウムで昨今注目を集める新規技術「連続生産」に関する講演が行われた。演者はPMDAスペシャリストの松田直弘氏。前編にて、ICH品質ガイドラインの変更と国内の薬事法改正（2005年）に伴う医薬品品質の（タイムシフト）について、松田氏の講演をまとめた。本編では引き続き、同氏に ...続き

富士フィルムと武田薬品、再生医療等製品の共同事業化に向けた取り組み開始 2018/02/09

FDA、元素不純物情報を早期に提供するよう呼びかけ 2018/02/09

レギュラトリーサイエンスと新規製造技術①
医薬品品質保証の概念変化 2018/02/08

MHRA Inspectorate
直前もしくは予告なしでの査察実施について Part 2 2018/02/08

【PR】 インターフェックス大版 注目企業 企画 Part1
【PR】 インターフェックス大版 注目企業 企画 Part2
【PR】 インターフェックス大版 注目企業 企画 Part3

連続生産技術が変える医薬品製造
2017年9月24日発行

facebook
ファームテックジャパン公式フェイスブックページ

【特集】 インターフェックス大版2018

中外製薬のバイオ医薬品生産～現在、そして次世代～ (山田秀雄氏・中外製薬株式会社)

Q. 医薬品生産を語る際、変わりがつづいていますが、バイオ医薬品の生産で期待はどのように対応しているのでしょうか。ブロック/スターの構築が難しくなるなか、医薬品生産の移行の方向は変わっています。この ...続き 2018/01/31

【座談会】連続生産の現状と今後の課題を探る (後半)

【竹内】フェンシオン氏に連続生産が実現で注目されてきた背景などについてお話を伺いました。医薬品業界にとって新しい技術であるPATが現場にも浸透し、なかば必要と見られてきたこと、現場でも浸透し、 ...続き 2018/02/02

【特集】 ICHジュネーブ会議2017

ICH、ジュネーブ会議の報告書を公開
2018年1月31日付でICHは、「The ICH Assembly and MC Reports from the Geneva meeting, November 2017, available ...続き 2018/02/02

【連載】統計的思考への入口

QC7ツールのとは

●データの可視化の方法 データを可視化するためのツールに、QC7ツールがあります。日常業務で使われる機会も多いかと思いますが、以下に紹介します。(1)ノレート表 状態などを分類して件数の多いものを左 ...続き 2018/01/26

【書籍紹介】 固形医薬品の抽出

●書籍のポイント 固形医薬品の抽出技術をより深く理解するためのバイブル。固形医薬品の抽出・製剤することで、さまざまな特許問題を回避する製剤を開発することができます。すなわち、いかに抽出を変化させ白濁と ...続き 2017/11/26

掲載料金	220,000円(税別)
表示場所	全ページ (eBook、FAQ内を除く)
掲載期間	1ヶ月(1日～末日)
枠数	2枠
サイズ	300×170ピクセル
容量	150KB以内 ※アニメーションは30秒以内
形式	JPG、PNG、GIF

入稿締切:5営業日前

③右下段バナー広告

安全な細胞治療法の確立へ
先端医療振興財団、iPS細胞やES細胞の分化能を決定する因子を同定 2018/02/14

TGAが電子申請に関する情報更新 2018/02/14

連続生産等をテーマにIFPAC 2018がワシントンで開催 2018/02/14

PLCM (製薬) 研究会 第12回シンポジウム開催
口腔内速凍凍結等の現状と展望 2018/02/13

【PR】 3/13 東京 分析法/メソッド開発者セミナー (DocE, 予備, デザインスペース)
【PR】 インターフェックス大阪 注出医療企業 Part1
【PR】 インターフェックス大阪 注出医療企業 Part2

PHARM TECH JAPAN 2017年9月開催分
連続生産技術が変える
医薬品製造

facebook
「ファームテックジャパン」のフェイスブックページ

【特集】 これからのレギュラトリーサイエンスを考える
【特集】 インターフェックス大阪2018

PMDA松田氏が連続生産実現への課題を挙げる
2018年2月5日に東京で行われた「第3回日本製薬研究開発者向けレギュラトリーサイエンスに関するシンポジウム」で松田氏が講演した内容をまとめた新聞記事「調剤企業」に関する記事が掲載された。 掲載は ...続き 2018/02/09

【特集】 海外当局、2017年総括と今後の計画
【特集】 Brexit —英国EU離脱—

2017年の医薬品承認までの期間は255営業日以内
2018年2月9日付でオーストラリア製薬局(薬品・医薬品行政庁 (TGA))は、2017年にTGAが承認した医薬品の承認期間は、すべて2017年255営業日以内であったと発表している。 「All TGA appr. ...続き 2018/02/13

【特集】 海外当局、2017年総括と今後の計画
【特集】 Brexit —英国EU離脱—

EMA、製薬企業のBrexitへの準備についての調査を支持
欧州医薬品庁 (European Medicines Agency; EMA) は、企業のBrexitへの対応準備に関する情報を収集するための調査を実施している。 2018年1月23日付で発表した「EMA ...続き 2018/02/20

【賞格紹介】 連続生産技術が変える医薬品製造

2月号のポイント対談「口腔内速凍結QA&A」の第1回目
記事: 「PIC/S-GMP Annex 1 第11トピックの特集」 2月号「APLUM (製薬) 新光会が主催した対談「口腔内速凍結QA ...続き 2018/02/01

【賞格紹介】 連続生産技術が変える医薬品製造

2月号のポイント対談「口腔内速凍結QA&A」の第1回目
記事: 「PIC/S-GMP Annex 1 第11トピックの特集」 2月号「APLUM (製薬) 新光会が主催した対談「口腔内速凍結QA ...続き 2018/02/01

過去の記事

MHRA Inspectorate
GMDPシンポジウム2017 2018/02/14

安全な細胞治療法の確立へ
先端医療振興財団、iPS細胞やES細胞の分化能を決定する因子を同定 2018/02/14

TGAが電子申請に関する情報更新 2018/02/14

連続生産等をテーマにIFPAC 2018がワシントンで開催 2018/02/14

PLCM (製薬) 研究会 第12回シンポジウム開催
口腔内速凍凍結等の現状と展望 2018/02/13

【開催案内】
日本薬学会第138年会特別企画 創薬特ライサイエンス研究支援基盤事業 (BINDS) ワークショップ 2018/02/13

オーストラリアTGAが発表
2017年の医薬品承認までの期間は255営業日以内 2018/02/13

FIRM、第5回ベンチャー創薬支援セミナーを開催 2018/02/13

FDA、Warning Letters 2018更新 2018/02/13



ICH Q3D への対応、
サプライヤーの適格性評価に
お悩みですか?

編集者コラム
「品質」との出会い
私が「品質」関係の仕事に就いたのは、今から4年前(そのまごころ)のこと。それまで勤めていた製薬会社から個人輸入会社に移し、薬事・品質部門に配属になって、学生時代には読書と授業を受けていた薬学誌(...続き (2018/01/26)

薬効別・会社別 新薬開発一覽
2017年 10月版

◇ 行政資料
薬事発2017第7号 「無効特許権付与承認申請の取り扱いは(その2)」 (2018/02/01)

薬事発2017第10号 「国際特許権付与承認申請の取り扱いは(その2)」 (2018/02/01)

◇ フレズリクス
第十フェイルムと第10版 医薬品 内部製造から外部製造へいたる再生医療製品の共同開発に向けた取り組みを掲載 (2018/02/08)

Strengthened guidance on follow-up and risk management for ATMP developers (2018/02/01)

アクセラレーション
1 レギュラトリーサイエンス イニシアティブを推進 厚生労働省・中薬局局長
2 AMED実証事業「日本のレギュラトリーサイエンスが世界をリードするために」
3 欧州における医薬品開発状況と対談対談
4 医薬品製造現場、日中17歳一歩進歩などについて報告
5 PMDA松田氏の連続生産実現への課題を挙げる

掲載料金	100,000円(税別)
表示場所	全ページ (eBook、FAQ内を除く)
掲載期間	1ヶ月(1日～末日)
枠数	5枠
サイズ	300×70ピクセル
容量	150KB以内 ※アニメーションは30秒以内
形式	JPG、PNG、GIF

入稿締切:5営業日前

<h2>掲載料金</h2>	<h2>70,000円(税別)</h2>
<h2>表示場所</h2>	<p>①TOPICS&CONTENTS 内 ⇒ TOP、記事詳細下</p> <p>②企業/製品・サービス 内 ⇒ TOP</p>
<h2>掲載期間</h2>	<h2>2週間</h2>
<h2>枠数</h2>	<h2>3枠</h2>
<h2>文字数</h2>	<h2>40文字以内 (全角・半角問わず)</h2>

入稿締切:5営業日前

⑤メルマガ テキスト広告

【PTJ ONLINE】更新記事メール

※先週金曜 AM6:30～本日 AM6:30 までの更新記事です。
※PHARM TECH JAPAN ONLINE「登録会員（無料）」にご登録いただいた方へ
配信しています。

— 【PR】 —

■■■ ファームテックジャパンセミナー2017年9月開催！■■■

◆日時：2017年9月29日（金）11時～16時半 ◆秋葉原コンベンションホール
◆定員：250名（申込順） ◆受講料：1万5000円（1名・税込・昼食付）
お申し込み・詳細⇒ <http://entry.jiho.jp/ptj/>

— 更新記事一覧 —

◇ 連続生産の議論が次のステップに State of Control とは何か？ AMED 研究班が文書公表

2018年5月24日のISPE日本本部年次大会で講演したPMDAの松田嘉弘氏は、連続生産実現に向けた重要な要素である“State of Control”の考え方を示す、AMED研究班の新たな成果物を……

》 <http://c.jiho.jp/c.p?22czLvAtmP>

◇ PIC/S加盟申請国の審査状況更新と複数の新WG設置

》 <http://c.jiho.jp/c.p?32czLvAtmP>

◇ 3製薬企業／3アカデミアによる創薬連携へ、「免疫炎症性難病創薬コンソーシアム」発足

》 <http://c.jiho.jp/c.p?42czLvAtmP>

◇ 塩野義製薬、抗酸菌症治療薬の開発候補品の導入・共同研究で米Hsiri Therapeutics社とライセンス契約締結

》 <http://c.jiho.jp/c.p?52czLvAtmP>

◇ 武田薬品工業、relugolixの国内婦人科領域での独占的販売権、独占的開発権をあすか製薬に導出

》 <http://c.jiho.jp/c.p?62czLvAtmP>

掲載料金 70,000円(税別)

配信数 別紙

配信回数 月・水・金(8:30前後)
(1週間に3回掲載)

枠数 1枠

文字数 タイトル:全角35文字以内
本文:105文字以内
(目安:全角35文字×3行/URL含)

入稿締切:5営業日前

【レポート内容】

レポート提出日：配信終了日後5営業日以内

レポート内容：インプレッション数（IMP）、クリック数、クリック率（CTR）

※メルマガ広告は、配信数をご報告いたします。